

支援内容	本人支援				
支援項目	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間性・社会性
ポイントとなる脳	視床下部・脳幹	前頭葉	後頭葉・海馬	大脳皮質・側頭部・前頭前野	側頭葉・前頭前野
支援のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善 健康な生活習慣の促進 健康な心と生活のリズムや生活習慣スキルの獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の向上 姿勢と運動、動作の補助的な手段の活用 保有する感覚の統合的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得 空間、時間、数等の概念の獲得習得 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用 言語の受容及び表出 コミュニケーション基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり(人間関係)の形成 自己の理解と行動への調整 仲間づくりと集団への参加
支援方法	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握、増進 リハビリの実施 基本的スキルの獲得 構造化(環境を整える) 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の過敏や鈍麻への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用 近くから行動への認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指差し、身振り、サインの活用 読み書き能力向上のための支援 コミュニケーションツールの活用 音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント(愛着行動)の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから抽象遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援
具体的な支援	<p>◎健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作りだすことを支援する。</p> <p>□健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思疎通が困難である児の障害の特性及び発達の過程、特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行う。</p> <p>○△睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に着けられるよう支援する。</p> <p>◎健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能、感覚等に配慮しながら、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。食事の意味を知る食育への取り組み。</p> <p>◎病気の予防や安全への配慮。</p> <p>◎日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの児に適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。投げる、拾う等身体的技術を育む遊び。</p> <p>○△身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本技能を獲得できるように支援する。着替えやトイレトレーニングなど清潔を維持する習慣。</p> <p>◎様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える。障害の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。安全を教える散歩指導や避難訓練。</p>	<p>◎日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持、強化を図る。</p> <p>□姿勢の保持や各種の運動、動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。</p> <p>□床活動においての自力での移動、補助での立位、歩行等日常生活に必要な移動能力の向上の為に支援を行う。</p> <p>◎保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくなるよう様々なツールを活用できるよう支援する。</p> <p>◎感覚や認知の特性、感覚過敏や感覚鈍麻等を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。</p> <p>◎心の情景や感情、感動を造形遊びで表現できるように支援する。造形遊びに積極的でない児には原因を解明しながら個人に合わせた支援を行う。</p>	<p>◎視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。</p> <p>◎環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。児と一緒に自然を感じながら面白さや美しさを伝える。児が感じ取った自然の姿を共感し、意味が見出せるようサポートしていく。</p> <p>◎物の機能や属性、形、色、音が変化する様子によって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。</p> <p>◎数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。</p> <p>◎認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。こだわりや偏食等に対する支援を行う。</p> <p>◎感覚や認知への偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。</p>	<p>◎具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。</p> <p>◎話言葉や各種の文字、記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援を行う。児が気持ちを表現する学びの機会を与える。</p> <p>◎個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。</p> <p>◎指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。</p> <p>◎発達障害の特性に応じた読み書き能力の向上の為に支援を行う。言い間違い等正しい発音を伝える。</p> <p>◎各種の文字、記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑に出来るよう支援する。</p> <p>◎音声、文字、触覚、シンプルな表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。</p>	<p>◎人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。</p> <p>◎遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。</p> <p>◎感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、量や時間の見立て遊びや考え遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。</p> <p>◎周囲に無関心である一人遊びの状態から並行、共同遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。</p> <p>◎大人が介入して自分の出来る事、出来ない事等、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや感情の調整ができるように支援する。</p> <p>◎集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。</p>
総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が健やかな身体と体を持ち日常生活を自立して送ることが出来るようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 発達レベルに応じた教科学習の支援、認知の偏りにたいする予防(誤学習)と状況に応じた適切な行動への対応力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高める 読み書きの苦手さをサポートしていく 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動でのルールに合わせた行動等や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養う
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> トイレや食事、着脱が出来る子 睡眠が十分にとれる子 食事がおいしく食べれる子 	<ul style="list-style-type: none"> 運動を楽しめる子 音や色、感触を楽しめる子 何にでもチャレンジできる子 	<ul style="list-style-type: none"> 時計が読める子 時間がわかる子 危険を判断できる子 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつができる子 自分の思いを表現できる子 楽しくコミュニケーションができる子 	<ul style="list-style-type: none"> 人と関わりがもてる子 選ぶことができる子

	移行支援	家族支援	地域支援
支援のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立訓練、就労への配慮された移行支援 ・ 移行先と支援内容等の共有や支援方法の伝達、連携 ・ 社会参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援を通じて、関係者、関係機関との連携を行い、安心して子育てができる ・ 親子、家族プログラムを通じて子育てが楽しく、家族が楽しく生活することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との交流の場を設け、地域参加の促進を行う。 ・ 地域の支援体制の構築への支援を行う。
支援方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な移行を想定した子供の発達の評価 ・ 移行に当たっての環境の評価 ・ 相談支援、学校等と協力し移行先との具体的な調整 ・ 家族、移行先との情報提供 ・ 移行先との援助方針や支援内容の共有、支援方法の伝達 ・ 相談支援等による移行先への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子プログラムを行うことによる子育てへの自信回復への支援 ・ 兄弟児にたいする影響も配慮しながらの家族プログラム ・ 関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいを目的とした地域行事、交流への参加。 ・ 地域施設の体験等の情報案内。 ・ 医療機関や障害福祉サービス、地域等の連絡調整
具体的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の着脱、食事の準備、清掃などの基本的なスキルの確認。 ・ 子どもが自分自身の日常を管理できるようになり、自信を持って生活ができるよう支援する。 ・ 人とのコミュニケーション方法、社会的なマナーの学習支援。 ・ 社会的なネットワークを広げられる支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの生活、自立、就職などの不安や心配の解消と子育てへの自信回復を含めた親子プログラムの実施 ・ 家族内での兄弟の影響も考慮した、家族プログラムの実施 ・ 家族が疲弊しないよう家族が心身ともに健康な状態を作る支援 ・ 家族が児に適切に接することが出来るようサポートする ・ 相談支援、他機関と情報共有できる場を設けられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動への参加で、新しい趣味の発見ができるよう支援する ・ 地域交流へ「どのように参加したらよいか」等の計画会議。 ・ 買い物、遊び、食事等の外出支援 ・ 他の事業所へのイベント参加や、招待事業所との交流。
総合的支援	<p>専門的知識、経験に基づきバックアップする「後方支援」としての位置づけを踏まえ、必要に大路手他機関との連携を図りながら支援を行う</p>	<p>保護者とも十分にやり取りしつつ保護者としてのエンパワメントの視点をもって支援する。なお、家族支援は保護者だけでなく、祖父母や兄弟姉妹も対象になる。得意に兄弟姉妹も一人の子どもとして、その子らしく育ていけるよう、一緒に参加して活躍できる活動・行事メニューを企画したり、兄弟姉妹同士が集まり、語らいや余暇を楽しめる場をセッティングしたりする工夫も大切にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域の機関と一貫・分担した支援」 ・ 「地域へ出向いての支援」 ・ 「地域の人材(強み)を活用した支援」 ・ 「地域と交流する支援」 ・ 地域と積極的につながって活動することを大切にする
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自信を持って生活ができる子 ・ 「やりたい事」が見つけられる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子で安心して生活できる子 ・ 家族で楽しく生活できる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に参加できる子 ・ 社会生活ができる子